

AC・Netニュース

NO 163
2009年
5月10日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

風薫る五月となりましたが、AC・Net会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、前回行われましたAC・Net 3月の例会には多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

5月ならびに6月の例会は、下記の通りでございます。

AC・Net事務局一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

5月の例会・総会

- ◆日時： 2009年5月20日（水）
- ◆会場： 大阪新阪急ホテル 2F 「紫の間・星の間」
- ◆総会： 14:00～14:45 「紫の間」
- ◆特別講演会： 15:00～16:30 「紫の間」

「次世代スーパーコンピューターにかける夢」

独立行政法人 理化学研究所
次世代スーパーコンピューター開発実施本部
開発グループ グループディレクター
次世代計算科学研究開発プログラム
副プログラムディレクター
東京大学大学院工学研究科・客員教授

工学博士 姫野 龍太郎 氏

- ◆懇親会： 講演会終了後～18:00 「星の間」



第180回 AC・Net例会・総会（5月20日）

【演 題】「次世代スーパーコンピューターにかける夢」

【講 師】 工学博士 姫野 龍太郎 氏
 独立行政法人 理化学研究所
 次世代一開発実施本部
 開発グループ グループディレクター
 次世代計算科学研究開発プログラム
 副プログラムディレクター
 東京大学大学院工学研究科・客員教授

【概 要】

2011年度末、完成を目標に、世界最速をめざした次世代スーパーコンピューターの開発を理研で進めている。このスーパーコンピューターは一秒間に一京回（一兆の一万倍で10の16乗）の数値計算を実行できるように計画している。この速度は現在国内最速のスーパーコンピューターの約100倍の性能となり、高速の数値計算が必要な、素粒子物理や天文、気象、ナノサイエンス、ライフサイエンス、災害予測や防止、自動車などの工業製品開発など、あらゆる分野で大きな威力を発揮するものと期待されている。このスーパーコンピューターを使い、これまで不可能だった計算を可能とし、新たな世界を切り開きたいというのが我々の夢である。

【略 歴】

1955 年生まれ（現在 53 歳）
 1977 年—京都大学工学部電気工学第二卒
 1979 年—同大学院修士課程修了
 1979 年—日産自動車（株）入社 中央研究所配属。液体の数値解析の研究開発に従事
 1998 年—理化学研究所入所、中央研究所・情報環境室・室長
 流体の数値計算、特に血流の数値解析の研究に従事
 2004 年—理化学研究所の独立行政法人化に伴う組織変更で、情報基盤センター長、
 および、中央研究所・生体力学シミュレーション特別研究ユニット、
 ユニット長となる。生体力学シミュレーションの研究開発に従事
 2006 年—次世代スーパーコンピューター開発実施本部開発グループ、グループディレクタ、
 および、次世代計算科学研究開発プログラム、副プログラムディレクタを兼務。
 東京大学大学院工学研究科・客員教授。スーパーコンピューターの開発、および、
 ライフサイエンス分野のシミュレーションの研究開発に従事
 2008 年—中央研究所の改組に伴い、生体力学シミュレーション特別研究ユニットは廃止
 され、基幹研究所・先端計算科学領域・生体シミュレーショングループとなり、
 グループディレクタ。

第181回 AC・Net例会 (6月19日)

「次世代モバイルワークショップ in 関西」

《～新たなる携帯プラットフォームオープン化の潮流～》

◆日時： 2009年6月19日(金) 開場：午後1時～

◆会場： 大阪歴史博物館 4階講堂

◆基調講演 13:30～14:00 (30分)

「オープン化がモバイルを変える、モバイルがICTを変える」

近畿総合通信局長

稲田 修一 氏

◆講演 1 14:00～15:00 (60分)

「通信プラットフォーム機能のオープン化がもたらすインパクト」

Google Japan ポリシーカウンスル

藤田 一夫 氏

◆講演 2 15:20～16:20 (60分)

「日本型モバイル文化の発展」

慶応義塾大学 教授

中村 伊知哉 氏

◆懇親会： 講演会終了後～18:00 ホテルプリムローズ大阪

- ▶ 主催：近畿総合通信局・大阪商工会議所・近畿情報通信協議会
社団法人テレコムサービス協会近畿支部
AC・Net（情報通信技術研究交流会）

「次世代モバイルワークショップ in 関西」
《～新たな携帯プラットフォームオープン化の潮流～》

【講師】 稲田 修一 氏

近畿総合通信局長

【基調講演】

「オープン化がモバイルを変える、モバイルが ICT を変える」

【概要】

モバイルのオープン化が急速に進んでいる。オープン化によりモバイルとインターネットの親和性はさらに高まり、モバイルの変化により ICT が一段と進化するであろう。このような中でイノベーションの方向性はどうなるのか、それに向けた施策の展開はどうなるのかについて展望する。

【講師】 藤田 一夫 氏

Google Japan ポリシーカウンシル

【講演 1】

「通信プラットフォーム機能のオープン化がもたらすインパクト」

【概要】

携帯プラットフォーム(Android)を発表し、携帯電話のオープン化を牽引する Google 政策担当者より、「開かれた」携帯電話端末のもたらす日本市場へのインパクトを中心に外資系通信事業者の参入が加速する中での Google の「立ち位置」に加え、クラウドコンピューティングを取り巻く動向と将来展望等に関する講演を行う

【講師】 中村 伊知哉 氏

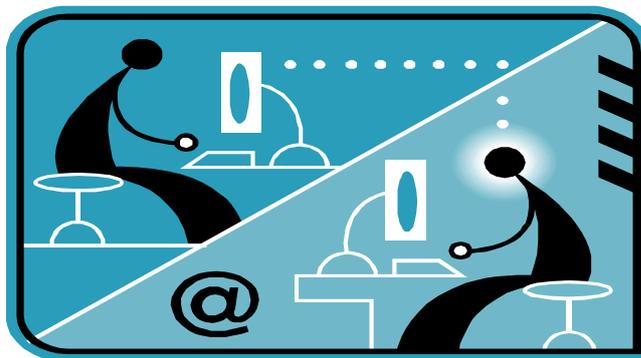
慶応義塾大学 教授

【講演 2】

「日本型モバイル文化の発展」

【概要】

モバイルコンテンツ市場が急速に伸びる中で、我が国特有のケータイ文化である「ケータイ小説」、「ケータイコミック」など海外にも通用するようなコンテンツ流通に関して取るべき国際戦略とは。通信放送融合法制、ユビキタス特区、コンテンツ取引市場などの政策アプローチに加え、子どもたちによるケータイアニメ制ワークショップなど、各種の取り組みを紹介する。同時に、これら文化の担い手である青少年とケータイとの負の関係について取り組む安心ネットづくり促進協議会などの動きについても展望する。



◆ 情報通信月間 ◆

情報通信月間は、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、昭和60年に設けられ、今年で25回目を迎えます。この期間中、全国各地で情報通信に関する様々な行事を開催し、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展に寄与することについて、国民の皆様のご理解を求めていくこととしています。

第 179 回 AC・Net (3/27) 例会報告 ～講演会から～

- 場 所：大阪新阪急ホテル
- テーマ：「コミュニケーション環境と人間」

第 179 回 AC・Net 例会への多数のご参加、
誠にありがとうございました。
アンケートからご意見を掲載いたします。

□演題：「人と情報の調和をめざすコミュニケーション科学」
講師：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 所長
外村 佳伸 氏

- NTT-CSL の研究テーマの概要がわかってよかった。
- コミュニケーション環境の特に仮想環境現実化を体感出来、非常に貴重な知見を得られたと思います。感謝します。
- もう少し時間を長くにとって詳しく聞いてみたいような内容ばかりでしたね。



□演題：「多数の環境センサと自律分散進化的最適化手法を用いた
知的オフィス環境の実現」
講師：同志社大学 工学部インテリジェント情報工学科 教授
三木 光範 氏



- 技術的な内容だけでなく、心理学や進化的な観点からの分析もなされており重要な、かつ、貴重な機会を得ました。
- 大変、説得力があり、すばらしい講演でした。
- 非常に興味深いお話でした。(多数)

3月27日(金)第179回AC・Net例会は、盛会のうちに終了いたしました。
お忙しい中、大勢の方にお越し頂きありがとうございました。心より感謝申し上げます。

【事務局からのお知らせ】



◎講演会の御案内は、メール配信及びKARCのWebサイト
(www-karc.nict.go.jp/ACnet)にて行っております。

◎会員名簿情報に変更がある場合は、事務局までお知らせください。

〒651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2
独立行政法人 情報通信研究機構 神戸研究所 未来 ICT 研究センター内
TEL/FAX 078-969-2132/2119
E-mail acnet@po.nict.go.jp